



学校だより

# 神橋

平成 30 年 6 月 29 日  
横浜市立神橋小学校

7 月号



## 神橋 夏の合言葉

**MOTTAINAI**(もったいない)& **Uitemate**(浮いて待て)

校長 末松 隆一郎

神橋小学校のプールからも、子ども達の歓声が聞こえてくる頃となりました。いくつかの水溜りを残して、梅雨も駆け抜けようとしています。照りつける日差しが紫陽花の終わりを告げはじめ、輝く夏がすぐそこまできています。

学校では前期前半まとめの時期を迎え、あと少しで夏休みです。夏休み前の特別朝会、例年私は子ども達に「夏の合言葉」として次の二つの話をしています。それは、**MOTTAINAI**(もったいない)と **Uitemate**(浮いて待て)。

### —**MOTTAINAI**(もったいない)—

この言葉は、アフリカ大陸出身者かつ環境分野で初めてノーベル平和賞を受賞したワシントン・マータイさんが来日した際、3R(リデュース=消費削減、リユース=再使用、リサイクル=再生利用)を一言で言い表した言葉であり、人の生き方や地球資源に対する **Respect**(畏敬の念)という意味までも込められていることに深い感銘を受け、環境を守る国際用語として世界に広げることを決意した言葉です。マータイさんは、2011年9月に永眠されるまで、「**MOTTAINAI**」を通して環境保全運動、平和運動のために、世界中を駆け巡られました。



私たち日本人の美德から生まれたこの言葉、今の時代だからこそ、私たちはこの言葉に誇りを持ち、大切にしていかなければいけないと思います。そんな願いを込め、子ども達には夏休み前に話をしています。

夏休み、私なりの「**MOTTAINAI**」を考えてみました。

- 休みだからといって、いつまでも寝ているのは **MOTTAINAI**
- 授業が進まないこの時期、しっかりと復習しないのは **MOTTAINAI**
- 暑いからといって、ゴロゴロダラダラしているのは **MOTTAINAI**
- 長い夏休み、普段できない勉強や体験・読書をしないのは **MOTTAINAI** 等々

皆さんも、それぞれの「**MOTTAINAI**」を、是非お子さんと話題にしていだければと思います。

### —**Uitemate**(浮いて待て)—

この言葉は、一般社団法人水難学会が提唱している、水難事故にあってしまった際の、命を守るための合言葉で、同学会会長の斎藤秀俊氏が提唱。その後、東日本大震災の津波から多くの子ども達の命を救った自己救助法、また、水難事故時の標準的生命維持動作として国際的に評価され、「**Uitemate**(浮いて待て)」という日本語とともに、世界に広がった言葉です。

これまでの警察等の統計によると、中学生以下の水難事故の約 90%は、釣りや水遊び、ボールを取りに行行って落ちたなど、服を着たまま溺れるケースだそうです。水泳中の事故は、10%未満で、場所別にみても、プールは 4%程度に過ぎず、そのほとんどが川や海、湖沼地、用水路で起きています。そして、時期では、半数以上が 6 月から 8 月に起きています。



神橋小では、毎年 5 年生が着衣水泳の学習を夏休み前に行っていますが、万が一の事態に備えて、水難事故への対処法、心に刻んでほしいと思います。

自分自身の「**MOTTAINAI**」を見つめ直し、健康・安全、特に水の事故には十分気をつけて、この夏を、そして夏休みを楽しく元気に過ごしてほしいと思います。

